

デジタルMCA移動無線電話装置

取扱説明書

品番 EF-6190



Radio Communication Solutions

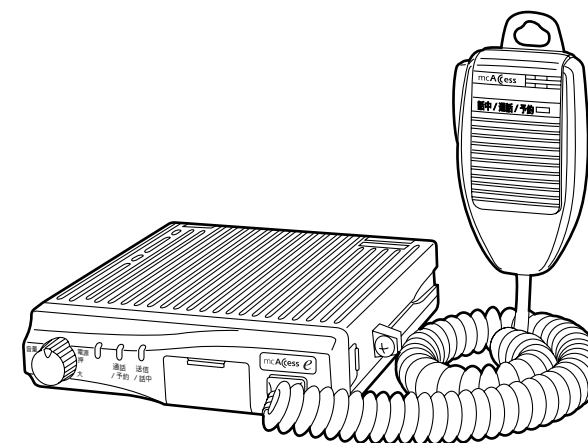
株式会社 ジャパンエニックス

JAPAN ENIX CO.,LTD.

- 本社 東京都品川区南品川 2-7-18 TEL 03-5715-2351
- 関西支店 大阪市西区千代崎 1-24-11 TEL 06-6583-7700
- 札幌営業所 名古屋営業所
- 仙台営業所 九州営業所

<https://www.jenix.co.jp/>

営業所住所はこちら▶



便利メモ ●おぼえのため、記入されると便利です。

お買い上げ日	年 月 日	品 番	EF-6190
販売店名	電話 () -		

(製造元) 松下電器産業株式会社
社会システム本部

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号
電話 フリーダイヤル 0120-878-410

保証書別添付

このたびはデジタルMCA移動無線電話装置をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」(4ページ～7ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

上手に使って上手に節約

特長

■mcAccess eのメリットを活かした3つの通信モード

- 全グループ通信、グループ通信、個別通信の通信モードに対応

■広域サービスで広がる利用範囲

- ネットワークで通話ゾーンを結び、ワイドなエリアを実現

■充実した録音機能

- オプションとの組み合わせにより通話メモ・伝言メモの録音、再生を実現

■使いやすさと安全性

- ワンタッチですぐにつながる移動通信メディア
- 電源の切り忘れなども安心なオートパワーオフ機能を装備

目次


安全上のご注意	4
正しくご使用いただくために	8
構成	9
mcAccess eについて	10
各部の名称とはたらき（無線機本体）	14
各部の名称とはたらき（オプション）	16
システムの拡張（オプション）	17
電源を入れる／切る	18
音量を調節する	19
通話する（発信）	20
通話する（着信）	22
■通話中の全グループ一斉受信について	22
■システム一斉について	22
相手局から呼び出される（選択呼出）	23
保守	24
故障と思われる前に	25
用語・機能説明一覧	26
仕様	28
保証とアフターサービス	29


安全上のご注意

必ずお守りください



お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。


■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 **警告** この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。


  この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

●無線機本体／マイクの取り扱いについて


警告

車を運転しながら使用しない

 交通事故の原因となります。
禁止

●運転者が操作するときは、車を安全な場所に止めてからご使用ください。


運転中は車外の音が聞こえる程度の音量にする

 交通事故の原因となることがあります。


●無線機本体／マイクの取り扱いについて（つづき）

警告


車載配線の際には自動車のバッテリー端子に直接接続する

 シガーライターソケット、およびヒューズボックスなどを經由しての接続は、火災や他の電子機器への障害の原因となります。


電源ケーブルを破損させない

 無理にねじる、引っ張る、踏みつけると破損につながり、ショートや発熱により、火災、感電の原因となります。
●電源ケーブルが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。


ヒューズは指定値を使用する

 指定値（7A）以外のヒューズを使用すると火災の原因となります。


電源ケーブルは添付品（ヒューズ7A付）を使用する

 許容量の少ないケーブルやヒューズのないケーブルを使用すると、火災の原因となります。

心臓ペースメーカー装着者に配慮して、人込みでは電源を切る

 本機からの電波がペースメーカーに影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

心臓ペースメーカー装着者は使用しない

 本機からの電波がペースメーカーに影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。
禁止

安全上のご注意

必ずお守りください

●無線機本体／マイクの取り扱いについて（つづき）

⚠ 警告

病院内や医用電気機器のある場所には持ち込まない



禁止

本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない



禁止

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

⚠ 注意

(+) アース車には使用しない



禁止

発熱、発火などの原因となります。

分解や改造をしない



分解禁止

異常動作したり、けがをすることがあります。

●故障の際は販売店へご相談ください。

パイプ類、タンク、配線などを傷付けない



禁止

車体に穴をあけて取り付けるとき、パイプ、タンク、配線などに傷を付けた場合、交通事故や火災の原因となります。

●無線機本体／マイクの取り扱いについて（つづき）

⚠ 注意

前方視界や運転操作を妨げない取り付けをする



交通事故の原因となります。

ぬらさない



禁止

水が入ったり、ぬらした場合、火災、感電の原因となります。

●内部に水などが入った場合は、まず本機の電源スイッチを切り、電源ケーブルを外して販売店にご連絡ください。

煙が出たり、変な臭いがするなどの異常時は使用しない



禁止

そのまま使用すると、火災、感電、事故の原因となります。

●本機の電源スイッチを切り、電源ケーブルを外して販売店にご連絡ください。

●マイクの取り扱いについて

⚠ 注意

指定以外の装置に接続しない



禁止

火災、感電、故障の原因となります。

コードを破損させない



禁止

無理にねじる、引っ張る、踏みつけると破損につながり、ショートや発熱により、火災、感電の原因となります。

●コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。

正しくご使用いただくために

■取り付け、接続について

- 無線機本体、マイク、車載アンテナなどの取り付けはしっかり行ってください。また、配線の引き回しは、運転の妨げにならないよう十分配慮してください。
- 無線機のアンテナ設置に際しては、テレビ、ラジオ、オーディオ機器、自動車電話、GPS受信機やそれらのアンテナおよび接続ケーブル類からなるべく離して設置してください。
設置状況によっては、他の電子機器に雑音や動作上の不具合などの障害が発生することがあります。
- 無線機取り付けとアンテナ工事には、技術と経験が必要です。
取り付けの際には販売店にご相談ください。
- 冷暖房の吹き出し口には取り付けないでください。
- 直射日光や熱風の当たる場所、水のかかる場所には取り付けないでください。
- 無線機にオプションを接続して使用するときは、指定品を使用してください。指定品以外を使用すると、故障の原因になります。
- 無線機をA C電源装置に接続して使用するときは、当社の指定品を必ず使用してください。
(デジタル機では使用電流の最大値が大きいため、アナログ機の電源装置を使用することができませんのでご注意ください。)

■取り扱いについて

- マイクのコードは強く引き伸ばしたままにしないでください。
コードの断線などにより故障の原因になります。
- エンジンを切ったまま使うと、車のバッテリーを消耗させてしまうことがあります。
使うときは、必ずエンジンをかけておいてください。
- 直射日光や熱風の当たる場所、水のかかる場所の設置は避けてください。
真夏に長時間、屋外駐車をしたときは車内の温度が高くなりますので、温度を下げてからご使用ください。
- 電波法により、無線機やマイクを分解、改造、指定以外の装置を接続することは禁じられています。

- 極端な高温・低温の環境下での利用は避けてください。
故障の原因となります。
推奨使用環境：温度 0℃～+40℃
- サービス地域内でも、通話中、下記の場所に移動したときは通話がとぎれることがあります。
電波の届かない場所（トンネル内など）
電波の弱い場所（ビル陰など）
- マイクを利用の際はマイクから約3cm離してご利用ください。
距離が近いと、音声が割れたり、歪むことがあります。

■使用後について

- 1日の使用が終わりましたら、車のバッテリーが上がらないように必ず無線機の電源を切っておいてください。

■お手入れについて

- 掃除にシンナーやアルコールなどを使わないでください。
- 内部の点検・修理は販売店などに依頼してください。
- 年に一度は内部の掃除を販売店などにご相談ください。
長い間掃除を行わずに、本体の内部にほこりがたまったまま使用すると、火災や故障の原因になることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
なお、内部掃除費用については販売店などにご相談ください。

構成

	品名	数量	備考
標準構成	無線機本体	1	
	電源ケーブル	1	ヒューズ 7A入り
	取付金具	1	
	取扱説明書	1	
	保証書	1	

mcAccess eについて

■mcAccess eシステムについて

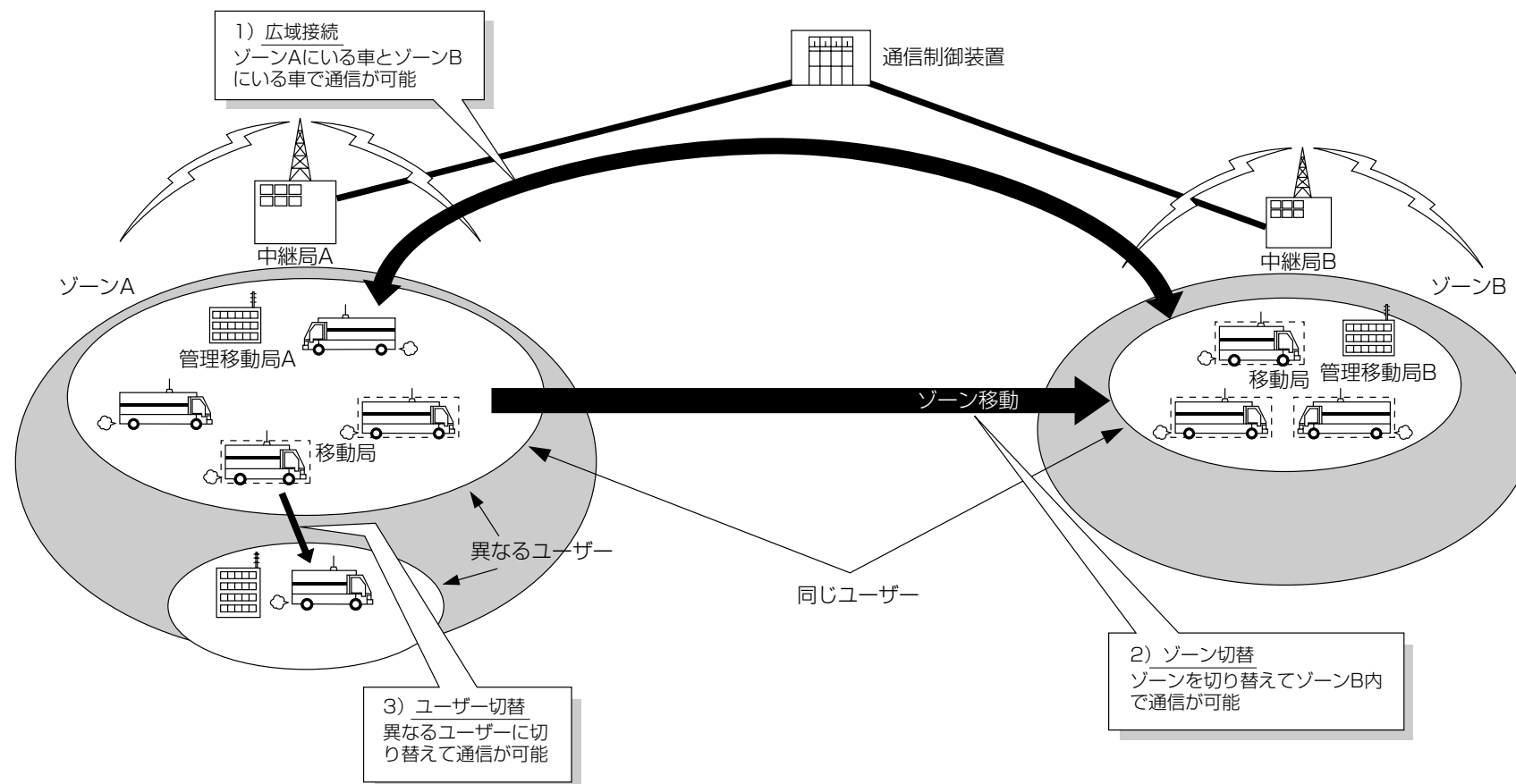
mcAccess eシステムは、多数の利用者が電波を共同利用し、中継局を中継して高品質の音声通話やデータ伝送を実現する通信システムです。

mcAccess eシステムは、周波数の有効利用のためにデジタル変調技術を採用したmcAccess eシステムです。

■広域サービスについて

mcAccess eシステムでは、他のゾーンとの通信（広域接続）や他のゾーンに移動したときの通信（ゾーン切替）、あるいは、使用するユーザーを切り替えるユーザー切替などの広域サービスが可能です。運用形態にあったサービスを選べます。

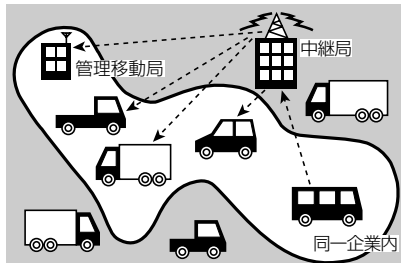
- 1) 広域接続 : ゾーンAにいる車が、ゾーンBにいる車、あるいは、事務所と通信を行うことができます。
- 2) ゾーン切替 : ゾーンAにいる車が、ゾーンBに移動したとき、ゾーンB内で通信を行うことができます。
- 3) ユーザー切替 : 複数のユーザーを持つ場合、切り替えが可能です。
<ユーザーが異なる無線機との通話はできません。>



mcAccess eについて (つづき)

■通信モードについて

mcAccess eシステムは、以下の3つのモードを指定して通信を行うことができます。

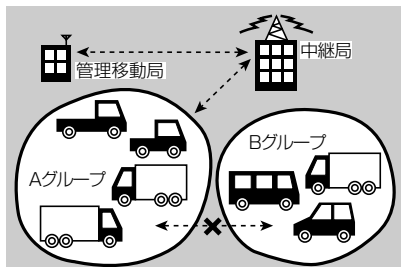


1) 全グループ通信

- 同一企業内（同一ユーザー内）の、通信中以外のすべての無線機と通話ができます。

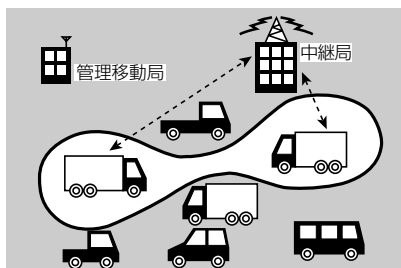
<全グループ一斉通信>

通信中の無線機を強制的に終話させて、全ての無線機と通話ができます。



2) グループ通信

- 同一企業内の無線機をいくつかのグループに分けているとき、特定のグループの無線機とだけ通話ができます。



3) 個別通信

- 無線機ごとに割り当てられた個別番号で特定の無線機のみと通話ができます。

■通信形態について

mcAccess eシステムには、以下の3つの通信形態があります。

a) 単信通信

- プレストークスイッチを押して、通信する通信形態です。

「話す」 プレストークスイッチを押し続ける。

「聞く」 プレストークスイッチを離す。

相手局の音が聞こえているときは、プレストークスイッチは無効です。

「聞く」、「話す」のどちらかを行い、通話します。（「聞く」、「話す」を同時には行えません）

b) 複信通信*

- プレストークスイッチを押さなくても電話機と同様の双方向通話ができる通信形態です。個別通信時に行えます。

「聞く」、「話す」を同時に行うことができます。

c) 半複信通信*

- 発信側は「複信通信」、着信側は「単信通信」の通信形態です。

全グループ一斉、全グループ、グループ通信時に行えます。

発信側：プレストークスイッチを押さずに通話ができます。

ただし、着信側が「話す」のとき、発信側の音声は受信側には聞こえません。

着信側：「話す」 プレストークスイッチを押し続ける。

「聞く」 プレストークスイッチを離す。

*複信通信、半複信通信で通信を行うには各サービスに加入が必要です。

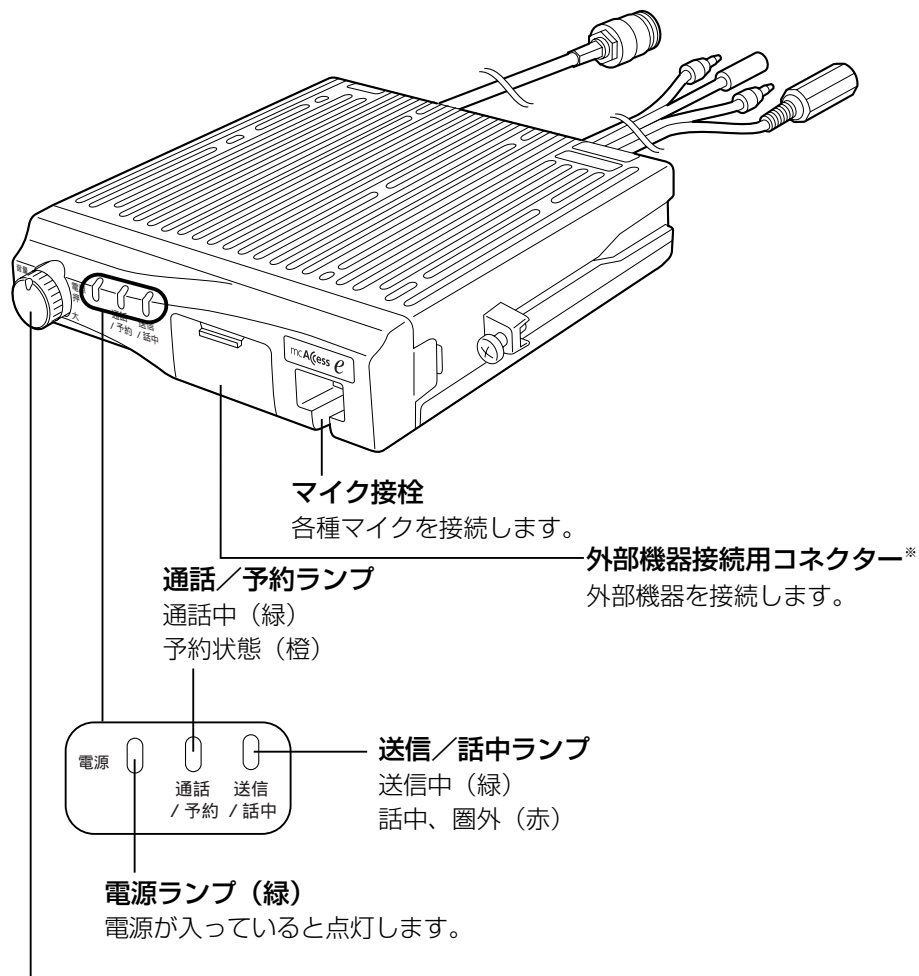
複信通信、半複信通信の通話方法につきましては、販売店へお問い合わせください。

参考

複信サービスに加入していても、「全グループ通信」、「全グループ一斉通信」、「グループ通信」のときは複信通信を行うことはできません。「単信通信」か「半複信通信」のいずれかとなります。半複信通信では着信側同士の通話はできません。

各部の名称とはたらき 無線機本体

前面

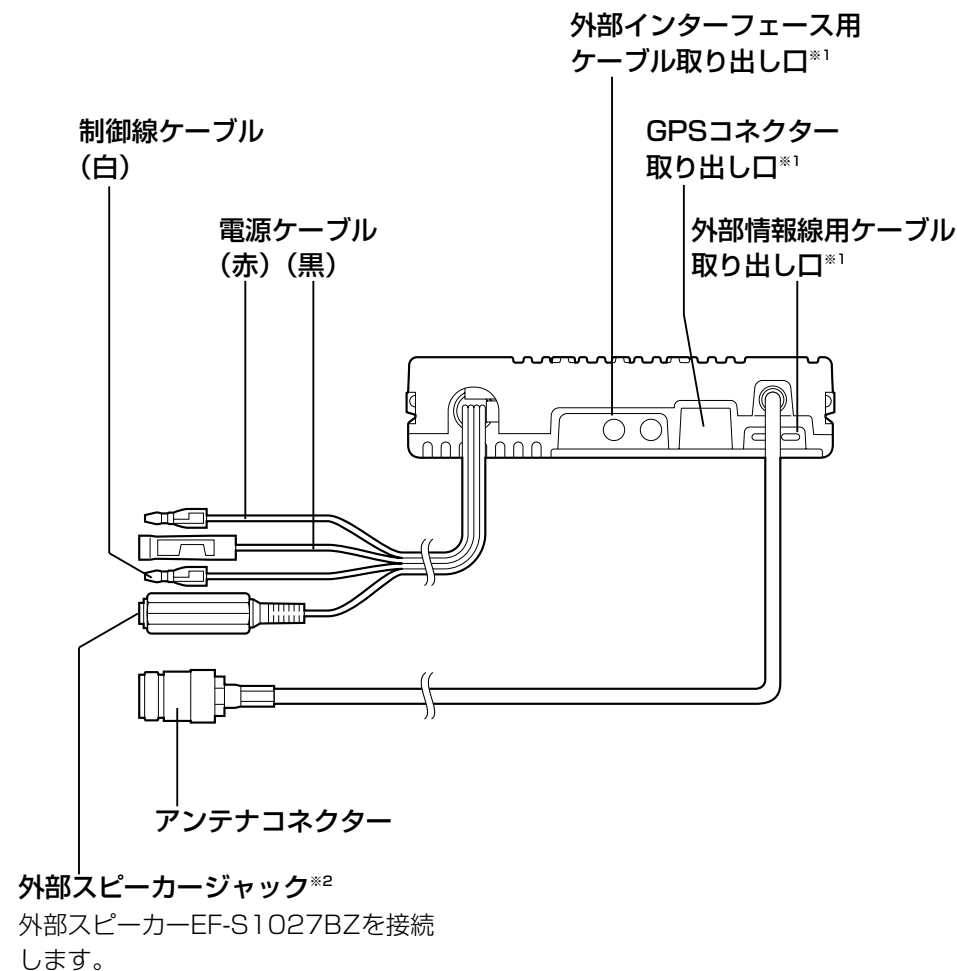


電源スイッチ/音量つまみ

押すと電源が入り、再度1秒以上押すと切れます。
つまみを右に回すと音が大きくなります。

※ 外部機器接続用コネクタを使用する場合は販売店へお問い合わせください。
また、ご使用にならない場合は必ずカバーを閉めてください。

後面



※¹ オプション接続時に使用しますので、販売店へお問い合わせください。

※² 外部スピーカーは、必ずインピーダンス8Ω以上のものをご使用ください。

各部の名称とはたらき (オプション)

■スピーカーマイク (EF-M50018AA)

前面

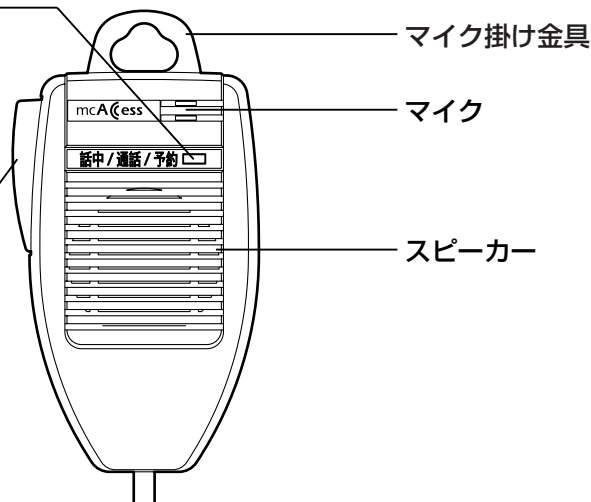
回線表示ランプ

回線状態を表示します。

- 話中 (赤)
- 通話 (緑)
- 予約 (橙)

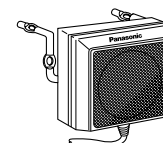
プレストーク スイッチ

押すと送信状態、離すと受信状態になります。



システムの拡張 (オプション)

スピーカー



■外部スピーカー (EF-S1027BZ)

スピーカーマイクで聞き取りにくいときなどに使います。(接続時にはスピーカーマイクからも音は出ます)

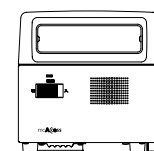
マイク



■ハイパースピーカーマイク (EF-M50010AA)

名称を選択して、各通信モードの切り替えや、相手局の呼び出しが可能になります。

管理移動局構成装置



■AC電源装置 (EA-P50131AZ)

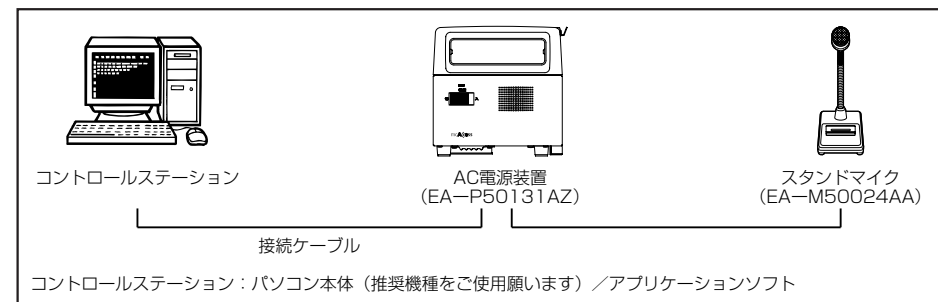
EF-6190を内蔵することにより、AC100Vでの使用が可能になります。



■スタンドマイク (EA-M50024AA)

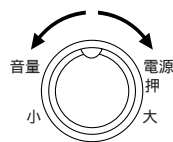
操作に関しては各装置の取扱説明書をご覧ください。

管理移動局の構成

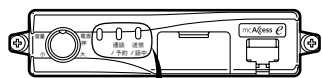


※本装置は万一の障害時に備え、保守契約のサポート体制を備えておりますので、詳しくは販売店へお問い合わせください。

電源を入れる／切る



1 音量つまみを中央の位置に合わせる

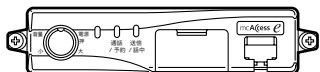


2 電源スイッチを押す

無線機本体の全てのランプが緑色に点灯した後、通話／予約ランプと送信／話中ランプは赤色点灯に変わります。

■電源を切る場合

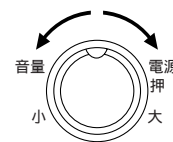
電源スイッチを1秒以上押してください。



参考

- 電源を入れると、移動無線センターへ位置登録を行います。登録中は、無線機本体の送信／話中ランプとスピーカーマイクの回線表示ランプが赤色に点灯し、移動局情報が更新された場合は、赤色に点滅しダウンロードを行います。
- 設定により、使用しない時間が一定時間を超えると、オートパワーオフ機能により自動的に電源が切れます。(オートパワーオフ機能は、あらかじめ販売店での保守設定が必要です。また、一定時間は販売店の設定により異なります)

音量を調節する



1

- ・音量を大きくする
音量つまみを右に回す
- ・音量を小さくする
音量つまみを左に回す

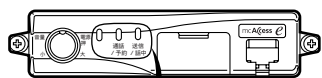
参考

ハイパースピーカーマイクをご使用の場合は、設定により無線機本体の音量つまみを回しても音量が変わらない場合があります。

通話する (発信)

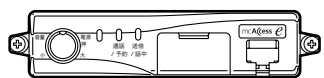
次の内容を確認してから通話してください

◆無線機本体の送信／話中ランプが赤色に点灯していませんか
(電源ランプのみ緑色に点灯しているときが通話可能な状態です。)

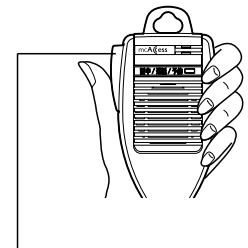


・送信／話中ランプが赤色に点灯しているときは、発信できない状態です。電波が届き、送信／話中ランプ (赤色) が消灯する地点まで車を移動してください。

mcAccess eサービス圏内 (電波が届く地点) でも、ゾーンが異なっているときは、送信／話中ランプが赤色に点灯し、通話できません。



無線機本体 : 通話／予約ランプ
(緑) 点灯
マイク : 回線表示ランプ
(緑) 点灯
鳴音 : ビピーツ



プレストークスイッチ

1 プレストークスイッチを押す

接続が成功すると、無線機本体の通話／予約ランプとスピーカーマイクの回線表示ランプが緑色に点灯し、「ビピーツ」と鳴ります。

接続に失敗すると「プッププツ」と鳴ります。

2 通話する

・こちらから音声を送るときは
プレストークスイッチを押しながら
話す
無線機本体の送信／話中ランプが緑色に点灯し、「ピッ」と通話指示音が鳴ってからお話しください。

・相手から音声を受けるときは
プレストークスイッチを離す
相手局の音声がかかります。

参考

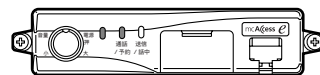
通信形態および発信先を設定する場合は、あらかじめ販売店での保守設定が必要です。

■終話について

通信制限時間の約10秒前に「ピッ」と終話予告音が鳴ります。約10秒後、「ポー」と終話音が鳴り終話になります。

単信通信時は通信制限時間内であっても、自局および相手局がともに送信していない時間が約5秒以上続くと終話になります。

トンネル内などで、電波が約10秒以上届かないときにも終話になります。



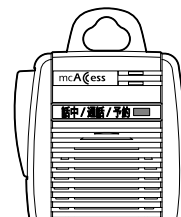
■無線機本体の通話／予約ランプとスピーカーマイクの回線表示ランプが橙色に点灯したら

予約状態です。

回線が混み合っていて「通話」の許可がないときは、「ピーポーパー」と予約通知音が鳴ります。

予約が解除され、無線機本体の通話／予約ランプとスピーカーマイクの回線表示ランプが緑色に点灯し、「ビピーツ」と鳴ったら通話してください。

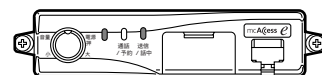
無線機本体 : 通話／予約ランプ
(橙) 点灯
マイク : 回線表示ランプ
(橙) 点灯
鳴音 : ピーポーパー



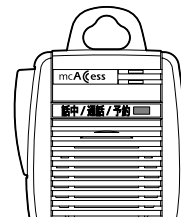
■無線機本体の送信／話中ランプとスピーカーマイクの回線表示ランプが赤色に点灯したら

圏外または発信禁止状態です。

中継局が接続を規制しているなど、発信ができない状態の時は、「通話」や「予約」にならず、無線機本体の送信／話中ランプとスピーカーマイクの回線表示ランプが赤色に点灯し、「プッププツ」と音が鳴り、接続に失敗したことを知らせます。



無線機本体 : 送信／話中ランプ
(赤) 点灯
マイク : 回線表示ランプ
(赤) 点灯
鳴音 : プッププツ

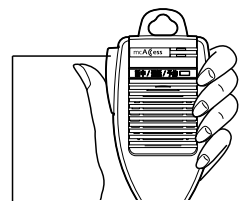


通話する（着信）

通話を受けると、無線機本体の通話／予約ランプとスピーカマイクの回線表示ランプが緑色に点灯し、各種着信音にてお知らせします。

通信モード	着信音
全グループ齊通信	ピーポーピーポー
全グループ通信	なし
グループ通信	なし
個別通信	ピッポー
システムー齊通信	ピーポーピーポー

※各種着信音は販売店の保守設定により異なります。



プレストークスイッチ

1 通話する

- ・こちらから音声を送るときは
プレストークスイッチを押しながら話す
無線機本体の送信／話中ランプが緑色に点灯し、「ピッ」と通話指示音が鳴ってからお話しください。
- ・相手から音声を受けるときは
プレストークスイッチを離す
相手局の音声聞こえます。

通話中の全グループ齊受信について

通話の途中で全グループ齊受信が行われると、通話は強制終了となり、全グループ一斉の通話となります。

システムー齊について

各移動無線センター（中継局）からの通知があったときに、鳴音にてお知らせします。

- 全グループ齊受信と同様に「ピーポーピーポー」と音が鳴ります。
- システムー齊通信中は、通話を受ける動作のみで、こちらから送信することはできません。

相手局から呼び出される（選択呼出）

相手局が折り返し連絡してほしいとき（相手局から選択呼出を受けたとき）、着信音（マルチコール）で知らせます。



- マルチコール（連続音）**で呼び出されると「ピッポー」が連続して鳴り、プレストークスイッチを押すとマルチコールが停止します。マルチコールを受けたときは、プレストークスイッチを押すだけで「全グループ通信モード」または、「個別通信モード」で折り返し発信をすることができます。どちらの折り返し発信を行うかは販売店での保守設定によります。
- ※折り返し通信を終了した後は、通常の発信先に戻ります。

参考

- 送信局の設定により、「ピッポー」と鳴るモノコール呼び出しが可能です。ただし、送ってきた相手局に折り返し発信することはできません。
- 折り返し発信の通信モードは、販売店での保守設定によります。

保守

日常の保守

- 本体の取り付けがゆるんでいないか、アンテナ、電源ケーブル、マイクは確実に接続されているか確認してください。
- mcAccess eサービスエリア内で通話に支障がないか注意してください。
- 本体が汚れたときは、乾いた布でふいてください。
アルコールやシンナーでふくと、塗装がはげたり、くもりが生じたりすることがありますので使わないでください。

定期保守

- 年に1回は、サービス担当会社で定期点検を受けるようにしてください。

故障と思われる前に

ちょっとお調べください

こんなときは	ここをお確かめください
電源が入らない	移動局の場合 <ul style="list-style-type: none">●電源スイッチは入っていますか？●電源ケーブルがはずれていませんか？●車のバッテリーは大丈夫ですか？●ヒューズが切れていませんか？ 管理移動局の場合 <ul style="list-style-type: none">●無線機本体とAC電源装置の電源スイッチは入っていますか？●電源ケーブルがはずれていませんか？●AC電源装置の電源プラグがコンセントからはずれていませんか？●AC電源装置のヒューズが切れていませんか？●ブレーカーまたはヒューズが切れていませんか？
圏内にならない	<ul style="list-style-type: none">●アンテナケーブルは接続されていますか？●今いる場所はサービス圏内ですか？ (サービス圏内であってもトンネル内やビルの谷間などでつながりにくいことがあります)●登録ゾーンは合っていますか？ (複数ゾーンを使用しているとき)
音が聞こえない	<ul style="list-style-type: none">●音量つまみを左いっぱいに戻していませんか？
受信音声小さい	<ul style="list-style-type: none">●発信側でのマイク利用の際、マイクから口を遠く離して使用していませんか？
受信音声が割れる 歪む	<ul style="list-style-type: none">●発信側でのマイク利用の際、マイクに口を近づけすぎて使用していませんか？
無線機が温くなる	<ul style="list-style-type: none">●通話を続けていると温度が上昇します。
送信／話中ランプが赤色に 点滅して動作しない	<ul style="list-style-type: none">●しばらく待っても、変わらない場合は再度電源を入れ直してください。それでも変わらないときは、販売店にご相談ください。
通話／予約ランプが赤色に 点灯して動作しない	<ul style="list-style-type: none">●再度電源を入れ直してください。それでも変わらないときは、販売店にご相談ください。
音が途切れる	<ul style="list-style-type: none">●電波が弱い地域や移動しているときには音が途切れることがあります。

■すぐに販売店に

- 以下のような状態のときは電源スイッチを切り、管理移動局の場合はAC電源装置の電源プラグも抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。
 - 1) 使用中に焦げくさい臭いがする
 - 2) ヒューズがたびたび切れる
 - 3) 誤って水や異物を入れてしまった

用語・機能説明一覧

無線機・無線局

移動局	車載用として使用する無線局
管理移動局	営業所などの固定された場所で使用し、通信の管理を行う無線局

通信モード

個別通信	1対1の通信
グループ通信	全体を特定の小グループに分けて行う通信
全グループ通信	同一ユーザーの無線局が行う通信
全グループ斉通信	同一ユーザー内の全ての通信を終了し、管理移動局が優先通話を行う全グループ通信
システムー斉通信	移動無線センターからの通信

通信形態

単信通信	プレストークスイッチを押して通信する通信形態
複信通信	プレストークスイッチを押さなくても電話機と同様の双方向通話ができる通信形態
半複信通信	発信側は複信通信、着信側は単信通信となる通信形態

ユーザー

ユーザー	同一のユーザーコードを持つユーザー
ユーザー切替	自局が所属しているユーザーの切り替え

グループ

グループ	ユーザー内をいくつかに分けた小団体
------	-------------------

ゾーン

ゾーン	1つの中継局の通話範囲
広域接続	現在自局が位置するゾーン（通話範囲）以外のゾーンと接続し、通話やデータ伝送を行う通信
ゾーン切替	自ゾーンの切り替え

その他

選択呼出	特定の相手局のみを呼び出し、呼び出された相手局では着信音が鳴り続ける機能
マルチコール	着信音（ピッポー）が鳴り続ける機能
モノコール	着信音（ピッポー）を鳴らす機能

仕様

■無線機本体

外形寸法	約140(W) mm×約150(D) mm×約34(H) mm (突起部は除く)
質量	約0.9 kg (無線機本体のみ)
電源電圧	13.8 V、26.4 V
電波形式	G1B、G1C、G1D、G1E、G1F、G1X、G7W、G7X
周波数範囲	送信波 891.025 MHz ~ 892.975 MHz 905.025 MHz ~ 914.975 MHz 受信波 836.025 MHz ~ 837.975 MHz 850.025 MHz ~ 859.975 MHz
通信方式	2周波単信方式 (複信も可)
アクセス方式	TDM/TDMA
多重数	4多重
無線帯域伝送速度	32 kbps *
フレーム長	40 ms
発振方式	周波数シンセサイザ方式
変調方式	$\pi/4$ シフトQPSK
受信方式	スーパーヘテロダイン方式
送信出力	2 W (許容差+20%、-50%)
受信感度	6.0 dB μ V以下 (BER=1%)

*無線区間のデータ伝送速度 (1スロット当たりの実効処理速度)

伝送モード	データ伝送速度
TCH (誤り訂正あり)	2400 bps
TCH (誤り訂正なし)	6400 bps
UPCH (誤り訂正あり)	1200 bps
UPCH (誤り訂正なし)	3800 bps

●消費電流

状態	電源電圧	
	DC 13.8 V	DC 26.4 V
送信時(2W出力)	約0.9 A	約0.5 A
受信時	約0.6 A	約0.35 A
待受時	約0.25 A	約0.15 A

送信時の電流は、単信方式時の平均電流です。

保証とアフターサービス

保証書 (別添付)

- 必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのあと、保存してください。
保証期間はお買い上げ日から1年間です。

保証期間中の修理

- P.25の表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源スイッチを切って、お買い上げの販売店へご連絡ください。
保証書の規定に従って修理をさせていただきます。

保証期間後の修理

- お買い上げの販売店にご相談ください。

ARIB標準規格について

本装置は社団法人電波産業会の標準規格に準拠しています。

技術基準適合証明について

本装置(EF-6190)は、技術基準適合証明および認証を受けたものです。
本装置を改造するとその効力を失います。
また、移動局 (管理移動局) 以外の目的に使用できません。

機種名 EF-6190形MCA移動無線電話装置

Blank lined area for notes on page 30.

Blank lined area for notes on page 31.